

報告者 掛川地区更女会会員・元会長  
戸塚久美子

## 報 告

### ■再調査をした目的

平成 26 年度に設立 50 周年を迎えた当会。この年を記念して、沿革を含めホームページ上に様々なこれまでの更女活動を紹介することにした。

この作業で、20 年誌が発見されたので設立から 20 年間の沿革と、平成 17 年の 1 市 2 町の合併以後の 19 年度から 29 年度までの沿革は記録することができたが、その間の昭和 61 年から平成 18 年までの約 20 年間は空白となっている。出来る限りの記録をたどって、数年後に控えている 60 周年の折には、記念誌発行も視野に入れて、現在も矍鑠（かくしゃく）とされている先輩会員にお話を伺うことにした。よって、再調査の目的は、沿革記録が抜けている 20 年間は調査すること。

### ■調査に協力し、資料を収集して頂いたメンバー（敬称略）

掛川 鈴木敏子 中山富美江 塩澤歌子 小澤悦子 戸塚久美子  
大東 都築昭子 戸塚滋子 渥美敏子  
大須賀 鈴木幸子 鈴木副江  
市役所 斉藤康介主事補

### ■調査期間

平成 30 年 5 月～10 月末

ミーティング 6 月 7 日、7 月 4 日、8 月 17 日、9 月 10 日

聞き取り調査 不定期活動 6 月～11 月 12 日

取り纏め 10 月～11 月 27 日

### ■調査の対象と項目

対象 ①情報公開条例に基づく公文書取得

②市役所・支所等行政への聞き取り・役員等当会所属の先輩諸氏に聞き取り

③過去の総会資料や更婦だより等資料収集

項目 ①会長はじめ役員、会員数、収支額、活動内容等

### ■総括

残念ながら、市役所には情報公開条例に基づく開示請求をしたが、調査したい情報資料は皆目なかった。調査は不十分な結果に終わりそうになったが、11 月中旬に、ようやく大先輩宮川れい様（94 歳 かつて保護司・更女会員）が、昭和 57 年～平成 6 年までの総会資料を探しだして下さって、調査範囲の全ての情報（一部 2 年分の活動報告を除く）が揃うことになった。（石川ツヤ様 91 歳のお宅にも伺う）。

合併が奇しくも更生保護活動の西小笠地区の枠組み（掛川市、大東町、大須賀町）であったため、大きな混乱もなく、スムーズに当団体活動は引き継がれていたが、今後の資料管理方法の改善を会長にお願いした。高齢化を先読みして、もう少し早く調査をする必要があったと反省。僅かな資料だが、5 年後に控えた 60 周年に少しでも役に立つことを期待する。

### ■報告の範囲

①基本的な年次の活動の様子（わかる範囲で） 図表

②更婦・更女だよりに記載された文章・写真（当時の様子を示すものとして）

### ③中山富美江様（法務大臣感謝状授与者）からの総括的寄稿文

#### ■所見：昭和 61 年～平成 18 年までの調査について

今回の調査の年代は、創設 30 年（平成 6 年）を迎えた頃を挟んで、幾つかの大きな変化があった時代。例えば、会長が女性保護司から推挙され選出された時代から、一般の婦人会員からの選出となったのは、平成 7 年度会長から。保護司会との関係性は、大変深く、二人三脚的に活動されていたようだ。

また、更婦が更女になったり、100 円会費から始まり、一時、各地区の婦人会予算から分担されたり、その後自主参加になったころから 1000 円、1200 円に会費も変遷している。自主参加になる以前は、婦人会員即更婦会員だった。

ワープロやパソコンの普及もこの時代であって、手書きの資料から、パソコンの資料までであるのが、時代性で面白い。B 5 サイズの資料が A 4 に変化もしている。

保護司から 5 万円の助成が長く続いたが、7 万円になり、合併後は市役所が更生保護事業予算中保護司に拠出され、その中から 30 万円が当会に助成されている。

大須賀地区も大勢、掛川地区も大勢の会員でビックリしたが、今は一番大勢である大東地区が、当時は 30 人～位であったのも驚いたこと。

残り、平成 10 年と 11 年の活動内容が分からないし、もう少し詳しい分析をするとこの時代の活動がよくわかるのだが、時間もなく、申し訳ないが今後の調査に委ねたいと思う。